

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 11 日 (2007.10.11)

【公開番号】特開 2006-65897 (P2006-65897A)
 【公開日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-010
 【出願番号】特願 2004-243788 (P2004-243788)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10 3 1 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 8 月 24 日 (2007.8.24)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のグループに分類されて複数種類の情報が記録される記録媒体を有するナビゲーション装置であって、

ナビゲーションの読み書きされる頻度の高い情報を前記記録媒体の第 1 の優先情報記録領域に、前記第 1 の優先情報記録領域に記録される情報とは種類が異なり、かつ読み書きされる頻度の高い情報を前記記録媒体の第 2 の優先情報記録領域にそれぞれ記録するように制御する制御手段を有することを特徴とするナビゲーション装置。

【請求項 2】

前記記録媒体に情報を記録または再生する記録再生手段を有し、

前記第 1 および第 2 の優先情報記録領域は前記記録再生手段の初期位置からの移動量が少ない領域であることを特徴とする請求項 1 記載のナビゲーション装置。

【請求項 3】

前記記録媒体は、前記第 1 の優先情報記録領域の両側に前記第 2 の優先情報記録領域を有することを特徴とする請求項 1 または 2 記載のナビゲーション装置。

【請求項 4】

前記第 2 の優先情報記録領域に記録する情報は指定可能であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つに記載のナビゲーション装置。

【請求項 5】

前記第 1 の優先情報記録領域に記録される情報は利用者を目的地まで案内するナビゲーション装置の自宅付近または利用者の現在位置の情報または電源オン時の使用頻度が高い情報の少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つに記載のナビゲーション装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】発明の名称
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【発明の名称】ナビゲーション装置

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、情報を記録および／または再生するナビゲーション装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の目的は、複数のグループに分類される情報を記録再生するために要する時間を短縮することができるナビゲーション装置を提供することである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、複数のグループに分類されて複数種類の情報が記録される記録媒体を有するナビゲーション装置であって、

ナビゲーションの読み書きされる頻度の高い情報を前記記録媒体の第1の優先情報記録領域に、前記第1の優先情報記録領域に記録される情報とは種類が異なり、かつ読み書きされる頻度の高い情報を前記記録媒体の第2の優先情報記録領域にそれぞれ記録するように制御する制御手段を有することを特徴とするナビゲーション装置である。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に従えば、ナビゲーションの読み書きされる頻度の高い情報を前記記録媒体の第1の優先情報記録領域に、前記第1の優先情報記録領域に記録される情報とは種類が異なり、かつ読み書きされる頻度の高い情報を前記記録媒体の第2の優先情報記録領域にそれぞれ記録するように制御するので、情報を記録再生するために要する時間を短縮することができる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また本発明は、前記記録媒体に情報を記録または再生する記録再生手段を有し、

前記第1および第2の優先情報記録領域は前記記録再生手段の初期位置からの移動量が少ない領域であることを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明に従えば、記録再生手段の動作量を小さく抑えることが可能になり、記録再生に要する時間の短縮が可能になる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

また本発明は、前記記録媒体は、前記第 1 の優先情報記録領域の両側に前記第 2 の優先情報記録領域を有することを特徴とする。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

本発明に従えば、第 1 の優先情報領域と第 2 の優先情報領域とを単に並べて配置する場合に比べて、第 1 の優先情報領域および第 2 の優先情報領域に対して情報を記録再生するときの記録再生手段の平均動作量を、約 3 分の 2 に低減することができる。したがって第 1 の優先情報領域および第 2 の優先情報領域を単に並べて配置する場合に比べて、第 1 の優先情報領域および第 2 の優先情報領域に対して情報を記録再生するために要する時間を約 3 分の 2 に低減することができる。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 4 】

また本発明は、前記第 2 の優先情報記録領域に記録する情報は指定可能であることを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

本発明に従えば、第 2 の優先情報記録領域に記録する情報を指定しておくことによって、記録再生の頻度が高いと想定される情報と、第 1 の優先情報記録領域に記録される情報とを記録再生する場合の記録再生手段の動作量を小さくすることができ、記録再生に要する時間を短縮することができる。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

また本発明は、前記第１の優先情報記録領域に記録される情報は利用者を目的地まで案内するナビゲーション装置の自宅付近または利用者の現在位置の情報または電源オン時の使用頻度が高い情報の少なくとも１つであることを特徴とする。

【手続補正１４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１７】

本発明に従えば、第１の優先情報記録領域に記録される情報は利用者を目的地まで案内するナビゲーション装置の自宅付近または利用者の現在位置の情報または電源オン時の使用頻度が高い情報の少なくとも１つであることが好ましい。

【手続補正１５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正１９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正２０】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２３

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正２１】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正２２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２５

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 6
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 7
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 2 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 8
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 8】

本発明によれば、情報を記録再生するために要する時間を短縮することができる。

【手続補正 3 0】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 3 9
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 3 9】

また本発明によれば、記録再生手段の動作量を小さく抑えることが可能になり、記録再生に要する時間の短縮が可能になる。

【手続補正 3 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0040】

また本発明によれば、第1の優先情報領域と第2の優先情報領域とを単に並べて配置する場合に比べて、情報を記録再生するために要する時間を約3分の2に低減することができ、記録再生に要する時間の短縮が可能になる。

【手続補正32】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

また本発明によれば、記録再生される頻度が高いと想定される種類の情報を、優先情報によって指定しておくことによって、記録再生に要する時間を短縮することができる。

【手続補正33】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

また本発明によれば、第1の優先情報記録領域に記録される情報は利用者を目的地まで案内するナビゲーション装置の自宅付近または利用者の現在位置の情報または電源オン時の使用頻度が高い情報の少なくとも1つであることによって、記録再生に要する時間を短縮することができる。

【手続補正34】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正35】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0044

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正36】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正37】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正38】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正39】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0048
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正40】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0049
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正41】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0050
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正42】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0051
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正43】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0052
【補正方法】削除
【補正の内容】